



いつまでも良い歯でいるために～むし歯予防教室 7/11(金)

桐生市子育て相談課母子保健係から派遣された歯科衛生士さんが2名来園し、年長組の子どもたちにむし歯予防についてご指導いただきました。コロナ禍前は、保護者の方も一緒に参加していましたが、それ以来、感染予防を考慮して園児のみとなりました。

今回のご指導の中で重視されたのは、「歯の王様」である6歳臼歯を大切にすることです。この歯は、永久歯の中で、一番大きく、噛む力も一番強く、歯並びや噛み合わせを決める重要な歯ということです。なので、むし歯にならないようにということで、「えっへん磨き」という6歳臼歯の磨き方や、歯を強くする食べ物などを紹介してくださいました。特に、食べ物については、カルシウムを多く含む牛乳やチーズ、ヨーグルトなどの乳製品や、豆腐や納豆などの豆類、小魚が良いそうです。また、よく噛み噛みするために、せんべいやスルメ、ナッツ類など糖質を含まない固めの食べ物も良いという話がありました。大人も子どもも、大事な歯をむし歯にしないように努めましょう。



保護者会教養講座を開催 7/8(火)

この度、保護者会教養講座において、アトリエ「にゃお」さんによる人形劇を行いました。保護者会役員の岩船さんが、少ない予算の中で公演していただけるアトリエ「にゃお」さんに公演依頼をしていただき、今回の教養講座の開催になりました。

本日の人形劇は三つ見せていただきました。まず一つ目は『ねことボールとねこ、ねこ、ねこ』です。1匹のねこが登場し、一つのピンク色のボールに戯れることから始まります。そして、ねこが1匹2匹と増えていき、最後は5匹のねこが登場します。ピンクのボールも大きさが変わり、そのボールに戯れるねこたちがとてもかわいらしい様子が観られました。次の人形劇は、『ポンちゃん、ピコピコ』です。タヌキのポンちゃんが、地面から出てくる白い棒をハンマーで叩いて、地面に埋めると、違う場所からまた白い棒が出てきます。またハンマーで叩いて埋めると、違う場所が出てきてしまいます。ハンマーで叩くと、ピコピコなところが面白いです。何度叩いて埋めても、違うところから出てきてしまう様子に、子どもたちは大盛り上がりでした。最後の人形劇は、『うさぎと亀』です。足ののろい亀が、足の速いうさぎが油断して居眠りをしている隙に、亀がゴールをしてしまうという有名なお話です。

初体験の園児も多く、劇中は、大笑いあり、登場人形への声援ありと、大盛り上がりでした。

とても有意義な時間を設定していただきました保護者会役員の皆様、ありがとうございました。

